

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	大音寺山 みんなの山づくり実践事業
事業主体 (連絡先)	NPO 法人浅間温泉木の絆会 0263-46-1500
事業区分	(5) 環境保全及び景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,019,576円 (うち支援金: 575,000円)

事業内容

1. 遊歩道の整備
遊歩道に構築した「花木を楽しむエリア」他4つのエリアの草刈りや急斜面等の緩和作業実施。
2. 植樹会の開催
地元住民、ロータリークラブ、留学生等を含め、植樹会を4月16日と11月12日に実施。
延べ約150人の参加を得て、サルスベリ等計460本を植樹。
3. 環境整備
遊歩道内に道標18本を増設し、利用者の利便性を図るとともに、池周辺の遊歩道を拡幅するため、法面を板柵で補強した。



【11.12植樹会】

【目標・ねらい】

- ①里山の再生 (山林火災)
- ②観光客の増加
- ③健康寿命の延伸
- ④住民の絆を深める

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1. 植樹により、火災により焼失した山が再生しつつある。また、草刈や枝打ちを行うことにより、松本市に3か所ある風致地区として相応しくなっている。
2. 環境整備を実施したことにより、温泉の観光客等にも分かりやすくなり、観光スポットになりつつある。
3. 地元福祉ひろばが、ウォーキングイベントを開催し、参加した高齢者等の健康に寄与した。
4. 作業を通して住民相互が深まり、里山に対する関心が高まった。

※自己評価【 B 】

【理由】

山の再生と、景観整備に効果があり、観光スポットになりつつある。作業を通じ住民同士の絆が深まり、ウォーキング等健康維持の場としても利用されている。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・ハード事業については、今年度が最終年と位置づけ一通りの整備事業が終了した。今後は、維持管理を中心に作業を実施する。
- ・ソフト事業については、植樹会、ウォーキング等参加者の更なる拡大を図るための周知活動の徹底を図り、広報活動を活発化し絆の輪を広げていくことが必要。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある